

本取扱説明書・保証書は再発行できません
ので、大切に保管してください。

ダクトヒータ・ユニットヒータ 取扱説明書

このたびはダクトヒータ・ユニットヒータをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

型式、品番がご注文の製品に相違ないかをご確認ください。

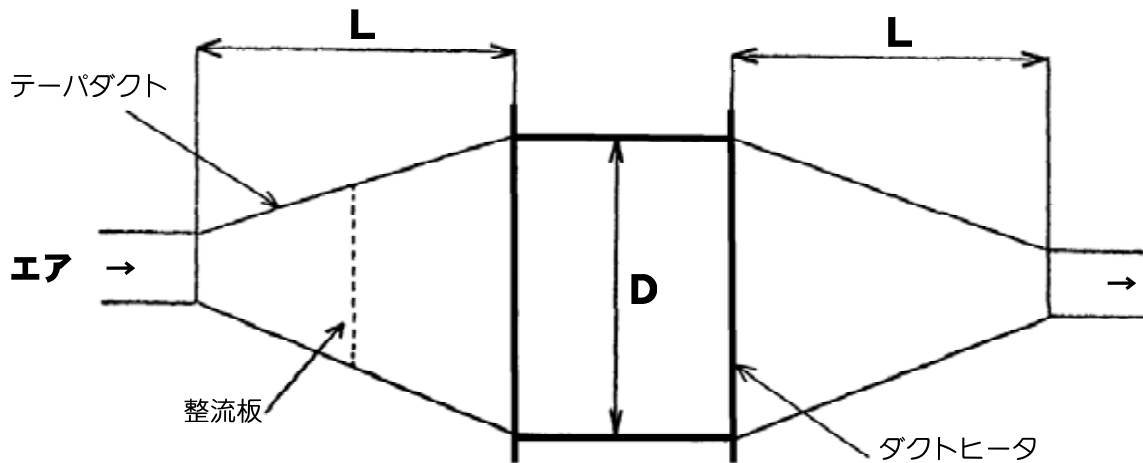
本書では据え付け、配線について説明しております。各事項について作業前に必ず習熟し正しく安全にお取り扱いいただきますようお願い申し上げます。

ご使用前に

ダクトヒータはエアの通過面積が大きいいため、テーパダクトや整流板を使用して必ず整流されたエアを供給してください。

ダクトヒータ内をエアが均一に通過しないと、その部分のニクロム線が異常高温となりヒータ断線の原因となります。

【整流例】



- ・整流板を設けてください。
- ・L寸法をD以上確保してください。

据え付け上の注意

- 1 カタログNo. 7をご参照ください。
- 2 風雨にさらされない場所、屋内、通風のよい場所を選んでください。
- 3 電源は必ず専用回路をご使用ください。D種接地(300V以下、301V～600VはC種接地)工事をしてください。
- 4 据え付け場所によっては、漏電遮断器の設置が法規によって義務づけられています。感度電流100～200mAをご使用ください、30mA以下は使用しないでください。
- 5 オイルミスト、ホコリ等の多い場所、可燃物の付近では使用しないでください。また、蒸気の供給はできません。
- 6 上向き、下向き等あらゆる方向に取付が可能です。送風が止まった場合過熱防止器が働く事を確認してください。

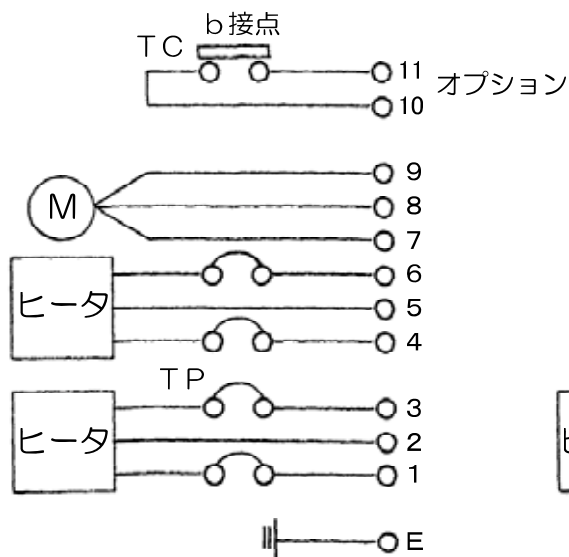
◎ダクトヒータの過熱防止センサの設定温度は出荷時350℃にセットしてます。

◎ユニットヒータの過熱防止器(TP)は101℃作動のものを取り付けてます。

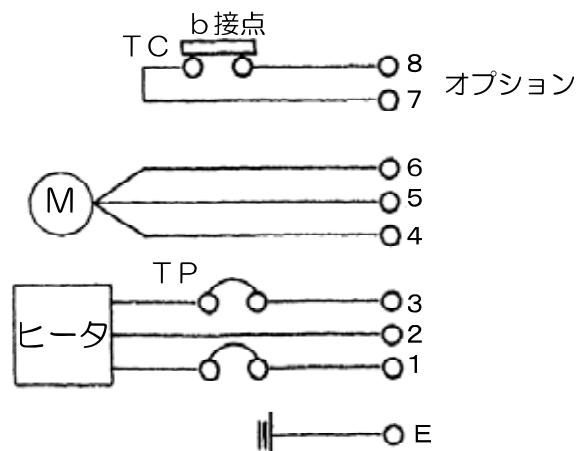
《ユニットヒータ端子図》

- ・過熱防止器(TP)101°C
- ・オプション下向きセンサ(TC)200°C (接点容量250VAC15A)

UHPF-40

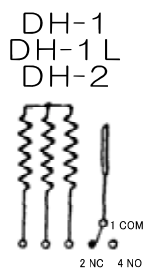


UHPF-25

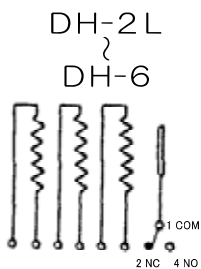


《ダクトヒータ端子図》

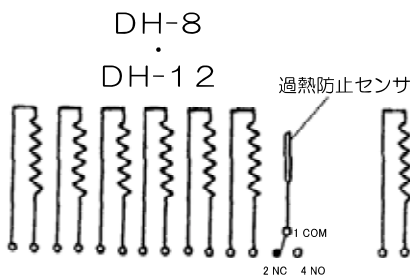
1. オープンデルタをデルタ結線する事により定格出力になります。スター結線した場合は定格の1/3の出力になります(DH-2L~24)。
2. 過熱防止センサの接点容量はAC200V16Aです。過熱防止センサの設定温度は出荷時350°Cに設定してます。



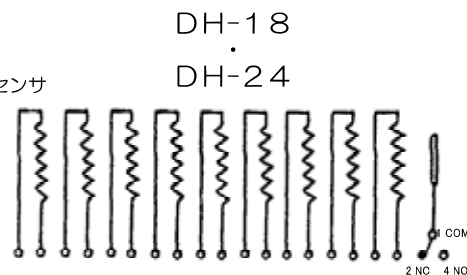
2.5kW・5kW



3相オープンデルタ



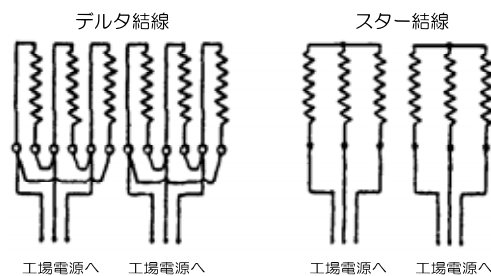
3相オープンデルタ 2回路



3相オープンデルタ 3回路

デルタ・スター結線例

DH-8~12の場合



DH-8~24については、1回路毎に電源ケーブルを接続してください。
ダクトヒータの端子で1回路にまとめますと端子に負担がかかりますので避けてください。



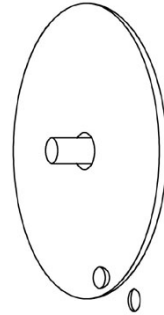
株式会社 **タケツナ** 竹綱製作所
 本社 (06) 6785-6001
 東京支社 (03) 5710-2001
 URL <http://www.taketsuna.co.jp/>

別紙 1

◆ ダクトヒータ過熱防止センサ設定方法

- 出荷時、ダクトヒータの過熱防止温度は 350°C に設定されています。

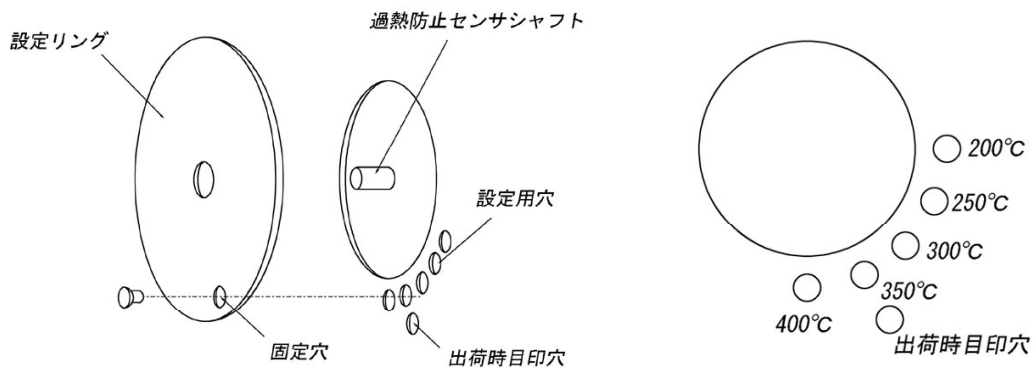
過熱防止温度の設定は 200°C、250°C、300°C へ変更できます。



出荷時 350°C 設定

【設定変更手順】

設定リング固定穴ビスを取り外し、設定リングを過熱防止センサシャフトへ入れた状態で、200°C、250°C、300°C のいずれかの設定用穴に設定リングの固定穴を合わせて固定してください。設定リング、及び過熱防止センサシャフトは半月円になっていますので、同時に回転し、希望の温度へ設定できます。



《注 意》

※ 400°C には絶対に設定しないでください。

※ 誤設定によるトラブルにおいては一切保証いたしません。